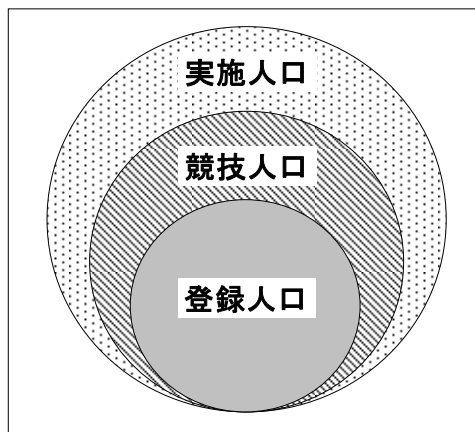


Ⅲ. 調査結果

1. 競技人口と登録制度に関する調査

スポーツの種目ごとの普及状況を示す概念として「競技人口」がある。しかし、その定義は必ずしも明確ではない。実際に把握ないし推計されているのは、登録人口（登録競技者数）と実施人口である。登録競技者数は、文字どおり各競技団体に登録されている競技者の数であるが、市民スポーツイベントとして行われる各競技の大会など、競技団体が参加者の氏名やその数を把握できていないケースも少なくない。これとは別に、たとえば笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」のスポーツ実施率に人口を乗じて「スポーツ実施人口」を推計することができるが、この中には、競技者ではない人、たまにそのスポーツを楽しむ人も含まれている。これら「登録人口」「競技人口」「実施人口」の関係を示せば図1のようになる。以下では中央競技団体の回答をもとに、主に登録人口と制度についてみていく。

図1 登録人口、競技人口、実施人口の関係



1-1 登録制度の有無

競技者の登録制度については、回答を得た78団体のうち、登録制度が「ある」団体は71団体（91.0%）であった（表2）。そのうち、個人の登録制度のみある団体が32団体（41.0%）、個人・チームともに登録制度がある団体が39団体（50.0%）であった。登録制度がない団体は7団体（9.0%）であった。

表2 中央競技団体の登録制度（n=78）

登録種別	団体数	%
個人の登録制度のみあり	32	41.0
チームの登録制度のみあり	0	0.0
個人・チームともに登録制度あり	39	50.0
登録制度なし	7	9.0

1-2 登録競技者数

表 3 に中央競技団体の登録競技者数（またはチーム数）を示した。個人登録者数についてみると、最も多いのはサッカーの 91 万 9,466 人で、以下、軟式野球（79 万 877 人）、ゴルフ（62 万 9,070 人）、バスケットボール（59 万 7,375 人）、陸上競技（42 万 5,280 人）、バレーボール（41 万 8,847 人）の順となっている。登録チーム数についてみると、最も多いのは、軟式野球（4 万 2,397 チーム）で、以下、バスケットボール（3 万 4,039 チーム）、サッカー（3 万 219 チーム）、バレーボール（2 万 5,880 チーム）、陸上競技（1 万 5,852 チーム）の順となっている。登録競技者数と登録チーム数がともに集計されている軟式野球では、1 チームあたりの平均登録者数が 18.7 人、バスケットボールでは 17.5 人、サッカーでは 30.4 人、バレーボールでは 16.2 人と、一般的に試合に必要な人数（9 人、5 人、11 人、6 人）の 2～3 倍程度であった。本調査で個人の登録制度がある、かつ登録者数を回答した 71 団体の登録者を合計すると、596 万 1,343 人であった。登録者数を性別にみると、多くの種目で男性が女性を上回っているが、エアロビック、体操、ダンススポーツ、バドミントン、バレーボールでは女性の登録者・チームのほうが多い。

表 3 中央競技団体の登録競技者数および登録チーム数（n=90）

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)全日本アーチェリー連盟	12,000	7,500	4,500
(一社)日本アームレスリング連盟	800 [72]	750	50
(公財)合気会	*	*	*
(公財)日本アイスホッケー連盟	×	×	×
(公社)日本アメリカンフットボール協会	15,756 [429]	—	—
(公社)日本ウエイトリフティング協会	×	×	×
(公社)日本エアロビック連盟	1,321 [26]	217	1,104
日本オーケーゴルフ協会	*	*	*
(公社)日本オリエンテーリング協会	2,306	1,719	587
(公社)日本カーリング協会	2,692	1,802	890
(公社)日本カヌー連盟	3,407	2,398	1,009
(一社)日本カバディ協会	350	280	70
(公財)全日本空手道連盟	86,707	—	—

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
日本キャスティング協会	×	×	×
(公財)全日本弓道連盟	134,212	68,246	65,966
(公社)日本近代五種協会	87 [7]	49 [3]	38 [4]
(一社)全日本空道連盟	6	6	—
(公社)日本グラウンド・ゴルフ協会	156,023 [3,662]	94,461	61,562
(一社)日本クリケット協会	1,755 [117]	1,620 [108]	135 [9]
(一社)日本クレール射撃協会	2,073	1,971	102
(公財)日本ゲートボール連合	46,619	28,219	18,400
(一社)日本健康麻将協会	×	×	×
(一財)全日本剣道連盟	*	*	*
(一社)日本拳法競技連盟	6,816 [533]	—	—
(公財)日本ゴルフ協会	629,070	567,963	61,107
(一社)日本サーフィン連盟	10,326 [1,250]	8,833	1,493
(公財)日本サッカー協会	919,466 [30,219]	863,206 [28,893]	56,260 [1,326]
(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会	5,340 [737]	—	—
(公財)日本自転車競技連盟	8,360	7,701	659
(公社)全日本銃剣道連盟	19,000	—	—
(一社)全日本柔術連盟	×	×	×
(公財)全日本柔道連盟	143,549 [8,325]	115,937	27,612
(一財)少林寺拳法連盟	28,984	21,140	7,844
(公財)日本水泳連盟	128,669 [5,905]	—	—
(特非)日本水上スキー・ウエイクボード連盟	529 [24]	×	×
(一社)日本水中スポーツ連盟	×	×	×

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)日本スカッシュ協会	1,834 [163]	1,113	721
(公財)全日本スキー連盟	×	×	×
(公財)日本スケート連盟	7,112	—	—
(公社)日本スポーツチャンバラ協会	×	×	×
国際スポーツチャンバラ協会	/	/	/
(公財)日本相撲連盟	×	×	×
(公財)日本セーリング連盟	9,971	—	—
(一社)日本セパタクロー協会	685 [44]	490	195
(公財)日本ソフトテニス連盟	278,005 [12,656]	148,923	129,082
(公財)日本ソフトボール協会	172,256 [8,793]	100,697 [4,922]	71,559 [3,871]
(公社)日本ダーツ協会	883 [84]	—	—
(公財)日本体操協会	31,080 [4,687]	8,991 [1,780]	22,089 [2,907]
(公財)日本卓球協会	188,511	115,892	72,619
(公社)日本ダンススポーツ連盟	12,331	5,673	6,658
(公社)日本チアリーディング協会	×	×	×
(公社)日本綱引連盟	×	×	×
(一社)全日本テコンドー協会	904	636	268
(公財)日本テニス協会	10,620	6,855	3,765
(一財)日本ドッジボール協会	1,067 [471]	649	418
(公社)日本トライアスロン連合	30,000 [230]	25,000	5,000
(一社)日本ドラゴンボート協会	1,375 [55]	1,300 [52]	75 [3]
(公財)全日本なぎなた連盟	*	*	*
(公財)全日本軟式野球連盟	790,877 [42,397]	775,364	15,513

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(一社)日本バイアスロン連盟	*	*	*
(一財)日本バウンドテニス協会	7,000	—	—
(公社)日本馬術連盟	6,254 [650]	—	—
(公財)日本バスケットボール協会	597,375 [34,039]	344,337 [17,871]	259,722 [15,651]
(公財)日本バドミントン協会	303,743	148,348	155,395
(公財)日本バレーボール協会	418,847 [25,880 ^{*1}]	159,125 [8,212]	259,772 [15,651]
(公社)日本パワーリフティング協会	1,785 [222]	1,537	248
(公財)日本ハンドボール協会	92,461 [4,911]	59,671 [2,894]	32,790 [2,017]
(公社)日本ビリヤード協会	1,615	1,459	156
(公社)日本フェンシング協会	3,778 [860]	2,372	1,406
(公社)日本武術太極拳連盟	*	*	*
(一社)日本フライングディスク協会	5,185 [285 ^{*2}]	3,439 [155]	1,746 [92]
(一社)日本フロアボール連盟	1,507	934	573
(公社)日本ペタンク・ブール協会	4,806	3,200	1,606
(公財)全日本ボウリング協会	10,910	8,435	2,475
(公社)日本ボート協会	9,074 [542]	6,098	2,976
(一社)日本ボクシング連盟	3,388	2,959	429
(公社)日本ホッケー協会	8,526 [533]	5,303 [310]	3,223 [223]
(公社)日本ボディビル・フィットネス連盟	3,007	2,582	425
(公社)日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟	71	51	20
日本マウンテンバイク協会	500	380	120
(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会	12,792 [121]	—	—
(公財)日本野球連盟	12,202 [353]	11,893 [353]	309
(一財)全日本野球協会	*	*	*

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(特非)日本ライフセービング協会	796 [140]	496	300
(公社)日本ライフル射撃協会	7,200	—	—
(公財)日本ラグビーフットボール協会	96,714 [2,879]	91,631	5,082
(一社)日本ラクロス協会	13,347 [336]	6,754 [149]	6,593 [187]
(公財)日本陸上競技連盟	425,280 [15,852]	275,187	150,093
(公財)日本レスリング協会	9,313 [1,075]	7,430	1,883
(一社)ワールドスケートジャパン	134	72	62

* : 登録制度なしと回答

— : 回答なし

／ : 無回答

× : 未回収

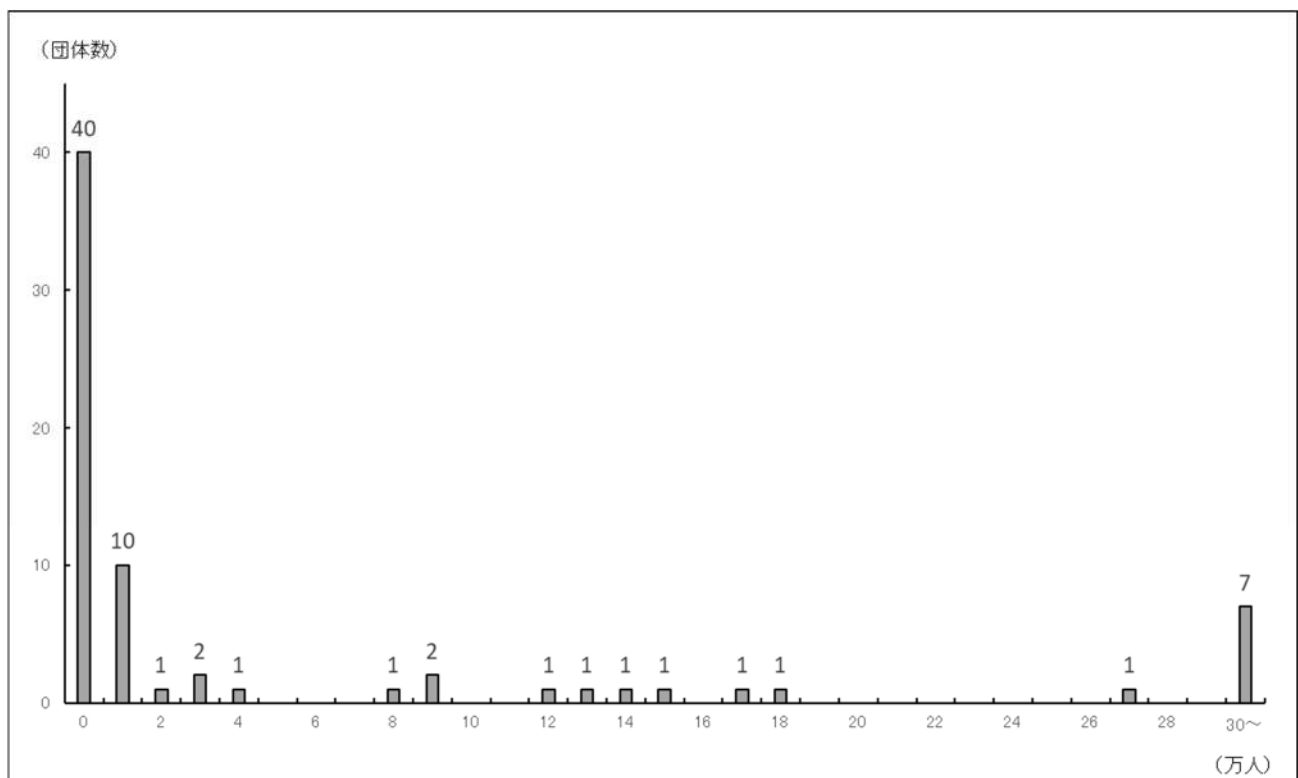
※1 男女混合 2,017チームを含む

※2 不明 38チームを含む

1-3 登録競技者数の分布

個人登録競技者数の分布をみると、平均は1団体あたり13万6,829人であるが、最小50人から最大約191万人までとかなり大きな差があった(図2)。中央値は1万385人、第1四分位は3,140人、第3四分位は10万6,661人であった。また1万人単位での最頻値は1万人未満(26団体)であり、本調査で登録競技者数の回答が得られた55団体の約半数を占めた。さらにそのうち、1,000人未満が6団体、1,000人以上5,000人未満が12団体と、登録競技者数が5,000人に満たない規模の団体(18団体)が全体の3割を占めている。

図2 中央競技団体の登録競技者数の分布



注) 登録競技者数は万人単位。したがって、「0」は9,999人以下を示す。